

## 令和6年第1回小清水町議会臨時会会議録

○議事日程（第1号）

令和6年1月18日（木曜日） 午前9時30分開会

第 1 会議録署名議員の指名について

第 2 会期の決定について

（議長諸報告について）

第 3 議案第1号 令和5年度小清水町一般会計補正予算（第7号）について

○出席議員（9名）

1番	梶間善高君	2番	木戸寛治君
3番	高谷貴子君	5番	瓜田新一君
6番	鬼塚茂君	7番	工藤孝一君
8番	和田彩君	9番	更科浩司君
10番	坂田秀昭君		

○欠席議員（1名）

4番 氣田敏和君

○地方自治法第121条の規定により、本会議に出席を求めた者

小清水町長	久保弘志君
小清水町教育長	加藤友幸君
小清水町農業委員会長	佐藤昌嗣君
小清水町代表監査委員	重成一男君

○委任を受け出席した者

副町長	鈴木祐之君
総務課長	細川正彦君
出納室長	牧野尚樹君
企画財政課長	畔木雅之君
町民生活課長	荒木和正君
保健福祉課長	組野麻記君
産業課長	石丸寛之君
建設課長	西川豊人君
保育所長	佐藤大吉君
生涯学習課長	村上信二君
農業委員会事務局長	石丸寛之君
監査委員事務局長	斉藤高広君

○本会議の事務に従事した者

議会事務局長	斉藤高広君
書記	谷綾乃君

◎開会の宣告

○議長（坂田秀昭君）ただいまから、令和6年第1回町議会臨時会を開会いたします。

（開会 午前9時30分）

◎開議の宣告

○議長（坂田秀昭君）直ちに本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（坂田秀昭君）日程第1、本日の会議録署名議員は、

3番 高谷貴子議員 8番 和田彩議員

を指名いたします。

◎会期の決定について

○議長（坂田秀昭君）日程第2、会期の決定について、議会運営委員長の報告を求めます。

工藤孝一議会運営委員長。7番。

○議会運営委員長（工藤孝一君）7番。先ほど、議会運営委員会を開催いたしました。

本日、第1回小清水町議会臨時会について協議し、議案は1件であります。

したがって、本日の会期は、本日1日といたすことを決定いたしました。

以上、議会運営委員会の報告といたします。

○議長（坂田秀昭君）議会運営委員長の報告は、会期1日であります。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（坂田秀昭君）御異議ないものと認めます。

よって、会期を本日1日と決定いたします。

◎議長諸報告について

○議長（坂田秀昭君）本日の会議に関する諸報告を斉藤事務局長から報告させます。

○事務局長（斉藤高広君）諸般の報告をいたします。

本日の会議出席議員数は9名でございます。

欠席議員の状況でございますが、4番、氣田議員より欠席届が提出されております。

本日の会議に関する説明員の出席につきましては、報告書を配付しております。

以上、諸般の報告を終わります。

○議長（坂田秀昭君）町長から挨拶がございます。

久保町長。

○町長（久保弘志君）おはようございます。新しい年を迎えての最初の議会開催でございますので、改めて、新年の御挨拶を申し上げたいと存じます。

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられたことと存じます。

しかしながら、1月1日16時10分頃の能登半島地震の発生とその映像に衝撃を受け、いつ襲ってくるか分からない災害の恐ろしさを改めて感じ、さらに、その翌日には、羽田空港において航空機事故が発生し、身に降りかかるかもしれない恐怖に驚愕した年明けでもありました。

犠牲になられた皆様に哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、不眠不休で災害対応や避難所運営、インフラ整備、あらゆる支援活動に当たられている皆様には、深く敬意を表し、一日も早い復旧、復興をお祈りしております。

このような予期せぬ災害、事故の報道を目の当たりにスタートしました本年ではございますが、引き続き、町政の進展と円滑なる行政運営、そして地域防災に格別なる御高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

ますとともに、皆様方にとって、幸多き一年でありますことをお祈り申し上げます。

さて、本日は、令和6年第1回臨時町議会を招集させていただきましたところ、新年早々、御多用にもかかわらず、御応招を賜りまして、ここに開会できますことを心から感謝申し上げます。

本臨時町議会では、国の補正予算による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の本町限度額が示されているところですが、そのうち推奨事業分として実施する事業が取りまとまりましたので、その関係予算を主に追加計上する令和5年度一般会計補正予算1件を提案させていただきます。よろしく御審議の上、原案に御協賛くださいますよう、お願い申し上げます。

暦は、寒さが最も厳しくなると言われる大寒を迎えます。皆様方には、くれぐれも健康に御留意をされますよう、御祈念申し上げまして、臨時町議会開会に当たりましての挨拶といたします。

#### ◎議案第1号

○議長（坂田秀昭君） 日程第3、議案第1号、令和5年度小清水町一般会計補正予算（第7号）についてを議題といたします。

説明を求めます。

畔木企画財政課長。

○企画財政課長（畔木雅之君） ただいま上程されました議案第1号、令和5年度小清水町一般会計補正予算（第7号）について御説明申し上げます。

補正予算書3ページをお願いいたします。

歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,816万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を77億972万9千円とするものでございます。

歳出予算ですが、国の補正予算において計上され、昨年1月30日付で通知がありました物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,541万3千円に、住民税均等割課税世帯臨時特別給付金と同世帯の子供に対する加算特別給付金並びに12月定例会にて既に補正予算議決を頂き、給付を進めております住民税非課税世帯臨時特別給付金該当世帯の子供に対する加算特別給付金事務に係る追加限度額が示されたことから、町独自の事業に係る費用と併せて追加計上するものでございます。

8ページをお願いいたします。

併せて、主要施策調べのほうを御覧ください。

2款総務費1項総務管理費1目一般管理費は、本年1月1日に発生しました石川県能登地方を震源とした能登半島地震に対する災害見舞金として100万円追加計上。

3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費は、10節需用費から12節委託料まで、住民税均等割課税世帯臨時特別給付金及び当給付金該当世帯の子ども加算特別給付金並びに住民税非課税世帯臨時特別給付金該当世帯の子ども加算特別給付金給付事務に係る事務費として、合計116万3千円追加計上。

18節負担金補助及び交付金は、町内7事業所を対象とした医療介護等事業者対策支援金320万円、国の基準に町独自支給対象分を加え、120世帯と見込んだ住民税均等割課税世帯臨時特別給付金1,200万円、同世帯の子供加算分として17名を見込み、住民税均等割課税世帯子ども加算特別給付金85万円、12月定例会で補正予算を頂き、既に支給を開始しております住民税非課税世帯臨時特別給付金該当世帯の子ども加算特別給付金として61名を見込み305万円、合わせて1,910万円追加計上。

なお、均等割課税世帯臨時特別給付金と子ども加算特別給付金につきましては、議決を頂きましたら、今後、速やかに支給事務を進めさせていただきますが、3月末までに申請、支給処理が終了できなかった場合は、残額につきまして、専決処分にて繰越しさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

19節扶助費は、暖房費助成金として50世帯を見込み、50万円を追加。

社会福祉費総額で2,076万3千円を追加するものです。

9ページになります。

6款農林水産業費1項農業費4目畜産振興費は、小清水町農業協同組合に対する補助でございますが、

同農協より要請を受け、燃料、飼料の高騰の影響の大きい酪農、畜産農業者支援策として、農業者の負担軽減につながることを目的に1千万円を計上するものです。

7款商工費1項商工費3目商業振興費につきましては、令和2年度から令和5年度まで、合わせて8回実施しております町内経済活性化事業の第9弾を実施するものです。

頑張るこしみず商品券の運用を進めることとしており、交付金の趣旨を鑑みますと、原油価格や電気、ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けている生活者は、本町に置き換えますと、全ての町民の皆さんが影響を受けている生活者であること、また、商品券の配付を実施することにより、町内商店の活性化の維持・継続につなげていくことを目的として実施するものでございまして、町民1人当たり1万円、本年4月の住民基本台帳人口を4,500人と推計し、4,500万円と通信費、印刷費などの事務費140万円、合計4,640万円を計上するものです。

なお、実施の時期につきましては、今後、事務準備を迅速に進めても、町民の皆様への商品券の配付から、町内事業者の商品券換金までを3月末までに完了することが困難であることから、この予算を繰り越し、新年度早々に実施するものと考えてございます。

次に、歳入予算ですが、6ページにお戻りください。

10款地方交付税1項地方交付税1目地方交付税は、財源調整分といたしまして3,554万7千円を追加。

14款国庫支出金2目民生費国庫補助金は、住民税均等割課税世帯臨時特別給付金及び同給付金該当世帯の子ども加算特別給付金並びに住民税非課税世帯臨時特別給付金該当世帯の子ども加算特別給付金給付費事業に係る国庫補助分として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,599万3千円を追加。

4目商工費国庫補助金は、町内経済活性化事業に係る国庫補助分として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2,554万2千円を追加。国庫補助金合計で4,153万5千円追加するものです。

15款道支出金2項道補助金2目民生費道補助金は、暖房費助成金支給事業に係る財源として地域づくり総合交付金が該当することが見込まれておりますことから、13万円追加計上。

19款繰越金は、財源調整分といたしまして、前年度繰越金95万1千円を追加計上するものです。

以上で、説明を終わります。よろしく御審議賜りますよう、お願い申し上げます。

○議長（坂田秀昭君）質疑を受けます。

7番、工藤孝一議員。

○7番（工藤孝一君）7番。ただいま説明がありました中で、9ページの7款商工費商工振興費町内活性化事業委託費ということで、一般財源からも2千万支出するという、これ実施時期、ちょっとよく聞き取れなかったんですが、新年度ということで受けていいんでしょうか。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

畔木企画財政課長。

○企画財政課長（畔木雅之君）お答えさせていただきます。

先ほど、ちょっとすいません、お聞き取りにくかったと思います。

こちらの事業につきましては、予算のほう、議決頂きました後、印刷製本等及び町民の皆さんに御案内、商品券を配付する時期に時間を要することから、新年度早々、令和6年度早々に事業に着手したいと思っております。

一部、年度内に印刷等時間がかかるものがありますので、事前準備として今回、予算計上させていただきました。一部着手した後、新年度に町民の皆さんに商品券を配布するというスケジュールで考えてございます。

以上です。

○議長（坂田秀昭君）7番、工藤孝一議員。

○7番（工藤孝一君）手続上、そういう4月ということにならざるを得ないということだと思んですが、これはちょっと物入りの多い時期等と子ども非課税世帯とかに給付することもあります。前倒しでやることを検討することはできないでしょうか。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

畔木企画財政課長。

○企画財政課長（畔木雅之君）お答えさせていただきます。

今年度内に全額を計上して実施するとなりますと、3月末までに全て商品券を使い終えるということにならないと今年度内の予算で全部執行というふうにはなりませんので、今回、予算計上をさせていただきます、事業のほうには着手はさせていただきますが、現実的に、事業の終了は、令和6年度という形でスケジュールを組まさせていただきますいております。

確かに、燃油高騰等、皆さん、影響を受けているのは存じ上げておりますけども、どうしても国に対する精算事務というものがありまして、皆様に支給をして、使っていただいて、換金をするという事務を3月末までというの、どうしてもスケジュール的に厳しいものがございますので、新年度の事業という形で進めさせていただくことについて御了承いただきたいと思っております。

以上です。

○議長（坂田秀昭君）よろしいですか。

○7番（工藤孝一君）はい。

○議長（坂田秀昭君）ほかに。

5番、瓜田新一議員。

○5番（瓜田新一君）5番です。先日の説明のときもお話は聞いたんですけども、今回、この商工費で9回目。8回目までの実績ちゅうんですか、予算上の足りなかった、それから増えたとか、余しているとかいうのがありましたらちょっと教えてもらえますか。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

石丸産業課長。

○産業課長（石丸寛之君）今、ちょっと手持ちの資料はございませんので、後ほど、事務局を通じて提出をさせていただきますと思っております。

以上でございます。

○議長（坂田秀昭君）瓜田新一議員。

○5番（瓜田新一君）4,640万ということで、通常、委託料が4,600万になるのか、この事務費の140万が委託料になるのか、4,600万が委託料ちゅうのが、ずっとこのあれでやってきましたけども、これでいいのかなって思うんですけど、どうなんでしょうかね。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

石丸産業課長。

○産業課長（石丸寛之君）議員、今おっしゃりたいお話は、この科目の持ち方ということだと思います。

一般的には、商品券の相当分については、報償費で持つのが通例というふうに、多分、御理解されているかと思いますが、他の補助金とかの部分についても委託料で措置しているという部分がございます。

あと、地方創生の交付金を活用しているということでもございますので、財政的な部分では問題ない経常の仕方ということでございますので、御理解を頂きたいと思っております。

以上でございます。

○議長（坂田秀昭君）よろしいですか。はい、どうぞ。

○5番（瓜田新一君）5番。前日も説明のときもちょっとあれしたんですけども、この事業に参加するしないは、案内が来て、うちが参加させてほしいとかいう意思表示はできるんですけども、案内も何も来ないところには、手も挙げようもないというのがずっと続いていますけども、その辺は、今回はどういうふうな措置になりますか。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

石丸産業課長。

○産業課長（石丸寛之君）お答えをさせていただきますと思っております。

案内ですね、周知不足というのは、私も反省をさせていただきます。次の広報紙、また町のホームページを通じて、御協力いただける事業者様に手を挙げていただくような体制を構築させていただきます。御理解いただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（坂田秀昭君）よろしいですか。

○5番（瓜田新一君）はい。

○議長（坂田秀昭君）ほかに、はい。

8番、和田彩議員。

○8番（和田彩君）8番。社会福祉総務費のところなんですけれど、2番目の住民税均等割課税世帯臨時特別給付金給付事業は、事務費が51万円、115世帯。その次の次の住民税非課税世帯子ども加算特別給付金給付事業は55名で、事務費が52万円という、この事務費の計算というのは、どのようにされているかを教えてください。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

暫時休憩します。

休憩 午前9時50分

再開 午前9時51分

○議長（坂田秀昭君）本会議を再開いたします。

組野保健福祉課長。

○保健福祉課長（組野麻記君）お答えいたします。

それぞれシステム会社に、システムの改修の依頼を委託をいたしまして、その経費、その改修費ですね、それぞれ事業に応じて算定額が違うということになっております。

以上でございます。

○議長（坂田秀昭君）和田彩議員。

○8番（和田彩君）それでは、役場の一般事務をされている方たちが計算して、それをお渡しするというわけではなくて、外部に委託をして、このお支払いしているというふうに考えてよろしいでしょうか。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。組野保健福祉課長。

○保健福祉課長（組野麻記君）議員のおっしゃるとおりでございます。

○議長（坂田秀昭君）和田彩議員。

○8番（和田彩君）役場内でやらない理由というのは何か、仕事がたくさんありすぎて委託しなければいけないとか、そのシステムがとてもややこしいとか、ちょっとよく分からないんですけど、どういう理由なんですか。

○議長（坂田秀昭君）答弁を求めます。

組野保健福祉課長。

○保健福祉課長（組野麻記君）すいません、説明がちょっと足りなかったんですが、支給事務自体を委託会社をお願いするのではなくて、今回、給付するのに、その対象世帯をピックアップしたりですとか、あと通知文書をシステムで吐き出すとか、そういうシステムの開発を委託業者に委託するというところでございます。

○議長（坂田秀昭君）暫時間休憩します。

休憩 午前9時54分

再開 午前9時57分

○議長（坂田秀昭君）本会議を再開いたします。

ほかに。

暫時休憩します。

休憩 午前 9時58分

再開 午前10時01分

○議長（坂田秀昭君）本会議を再開いたします。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（坂田秀昭君）質疑を終結いたします。

討論を行います。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（坂田秀昭君）討論を終結いたします。

議案第1号、採決いたします。

原案のとおり決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（坂田秀昭君）御異議ないものと認めます。

よって、議案第1号、原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（坂田秀昭君）以上で、本町議会臨時会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

これをもって、令和6年第1回町議会臨時会を閉会いたします。

慎重審議ありがとうございました。

（午前10時02分）